



よみ たん そん  
 日本一人口の多い村 **読谷村**  
 人口41,481人 (令和元年12月末)

**80**号 2019年12月  
 定例会

# 議会だより



議員の皆さん  
 いつも読谷村のために頑張ってくれてありがとうございます。これからも頑張ってください。

よなほ さほ  
 題字：與那覇 紗帆  
 (喜名小学校6年)

#まなびフェスタ読谷2020

#君はまなびフェスタで

何れまなび?



主な内容

◎一般質問.....p6

2020年(令和2年3月発行)

撮影:城間真弓 委員

# ここに注目！！

## このように使われます 議会のチェック（補正予算）

一般会計において令和元年度補正予算が9月定例会以後、12月定例会まで臨時会開催時に2回行われた。

◎ 第490回臨時会開催日10月17日（第5号補正）では村道波平～都屋線整備事業で都屋バス停の上下線に屋根付き乗り場の建設を予定。（4月供用予定）

◎ 第491回臨時会開催日11月25日（第5号補正）では歳入、歳出の増減はなく主に人事院勧告による人件費などの補正であった。

◎ 12月定例会開催日12月10日より（第6号補正）では歳入歳出919,994千円増の補正が行われており、結果予算の総額は157億4942万4千円となっている。その主な内容は前年度（平成30年度）よりの繰越金の確定により314,787千円の補正増でこれにより本年度繰越金は412,883千円となる。

また、ふるさとづくり寄附金も現予算より20,000千円増の110,000千円として、順調な伸びをしめしている。初の1億円突破も見えてきた。

一方、歳出では民生費における障害者自立支援事業へ162,684千円増（扶助費）補正している。

また、衛生費において、こども医療費助成事業へ22,000千円の補正増（主にこども医療費助成金の件数増40,000件⇒約49,000件による）。

教育費では先生方の働き方改革の一助として中学校2校へ新たに校務支援システム整備委託料9,460千円が計上されています。村内発掘調査事業は13,640千円を補正増（渡具知分）。

なお、585,672千円は予備費へ補正増となっている。

## 議 決 結 果

**令和元年 第490回 臨時会 議決結果** 令和元年10月17日

件 名	議決結果
令和元年度読谷村一般会計補正予算（第4号）	可 決

**令和元年 第491回 臨時会 議決結果** 令和元年11月25日

件 名	議決結果
読谷村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可 決

③ 読谷村議会 だより

件 名	議 決 結 果
読谷村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可 決
令和元年度読谷村一般会計補正予算（第5号）	可 決
令和元年度読谷村診療所特別会計補正予算（第2号）	可 決
令和元年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決
令和元年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
令和元年度読谷村水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
琉球王国の歴史と文化を象徴する首里城の早期再建を求める意見書	可 決
米陸軍トリイ通信施設におけるたび重なる吊り下げ訓練に対する抗議決議	可 決 (賛成多数)
米陸軍トリイ通信施設におけるたび重なる吊り下げ訓練に対する意見書	可 決 (賛成多数)

令和元年 第492回 定例会 議決結果 令和元年12月19日

件 名	議 決 結 果
令和元年度読谷村一般会計補正予算（第6号）	可 決
令和元年度読谷村診療所特別会計補正予算（第3号）	可 決
令和元年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
令和元年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
読谷村廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成多数)
読谷村上下水道事業の機構統合に伴う関係条例の整備に関する条例	可 決
読谷村水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村立幼稚園一時預かり保育料条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村宇座コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例	可 決
指定管理者の指定（読谷村福祉作業所）について	可 決
指定管理者の指定（喜名学童クラブ）について	可 決
物品供給（自動体外式除細動器（AED）購入）契約について	可 決
専決処分の報告（車両事故による対物損害賠償）について	報 告
専決処分の報告（車両事故による対物損害賠償）について	報 告
陳情書（読谷キッズ学童クラブ）	採 択
要請書（読谷村サッカー協会）	採 択
居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書	可 決

# 意見書

◎琉球王国の歴史と文化を象徴する  
首里城の早期再建を  
求める意見書

**全会一致!**

# 意見書・抗議決議

◎米陸軍トリイ通信施設におけるたび重なる吊り下げ  
訓練に対する抗議決議・意見書

**賛成多数で可決!**

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇 徳雄	仲 眞 朝雄	大 城 行 治	山 内 政 徳	上 地 利 枝子	當 間 良 史	津 波 古 菊 江	城 間 勇 輝	山 城 正 輝	松 田 昌 邦	長 濱 宗 則	比 嘉 幸 雄	神 谷 嘉 栄	上 地 正 彦	松 田 眞 武	伊 佐 眞 弓	城 間 眞 和	國 吉 雅 和	伊 波 篤 篤
◎米陸軍トリイ通信施設におけるたび重なる吊り下げ訓練に対する抗議決議・意見書	可 決		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○



たび重なる吊り下げ訓練の様子

# ★ 一般質問目次 ★

## ● 上地 榮 (P6)

- ◎首里城の再建について
- ◎第10回東アジア唐芋友好ワークショップの評価・課題とは
- ◎県道6号線の交通渋滞の解消について
- ◎村在住外国人の実態とマナー
- ◎本村における小中学校の教職員の働き方改革について
- ◎楚辺地域の海浜管理委託について

## ● 國吉 雅和 (P6)

- ◎駐日N.Z.大使の来村を求めることについて
- ◎給食調理場の統廃合について
- ◎学童クラブについて
- ◎鳳バスに利用者増について
- ◎読谷西部地区土地改良地域の環境整備について
- ◎災害後の復旧について

## ● 長濱 宗則 (P7)

- ◎古堅南小学校改築の進捗状況から
- ◎伊良皆東地区軍用地における不法投棄から
- ◎防衛省からの基地関係交付金から
- ◎福祉行政から

## ● 松田 正彦 (P7)

- ◎読谷村地域防災計画等を問う
- ◎公用車にドライブレコーダを導入してはどうか

## ● 城間 勇 (P8)

- ◎第10回東アジア唐芋友好ワークショップinよみたん
- ◎沖縄在来の山芋(クーガ芋、和名トゲドコロ)について
- ◎泊城公園の崖崩れ対策について

## ● 山城 正輝 (P8)

- ◎座喜味前田原用途変更作業の進捗について
- ◎座喜味地内の道路整備について
- ◎民間学童保育所への助成を!
- ◎高齢者運転支援装置補助の導入へ
- ◎養育費立替制度の導入を!

## ● 大城 行治 (P9)

- ◎世界遺産座喜味城跡の活用について
- ◎会計年度任用職員制度について
- ◎読谷村プレミアム付商品券について
- ◎喜名番所について

## ● 城間 真弓 (P9)

- ◎貧困問題の現状と対策を問う
- ◎トリイ通信施設の機能強化に終止符を!
- ◎命をはぐくむ「種子法」について問う

## ● 津波古菊江 (P10)

- ◎ごみ減量化の推進と資源ごみの再利用について
- ◎村道大湾7号線の進捗状況と大湾から古堅へ抜ける一方通行の解除について
- ◎甘藷事業と生産農家の現状について

## ● 比嘉 幸雄 (P10)

- ◎自治会加入率と行政区移行について問う
- ◎松くい虫被害について
- ◎読谷18番市、共販センターの現状と活用計画について
- ◎嘉手納警察署と読谷飛行組合とのドローンによる人命救助活動について
- ◎伊良皆北交差点にバス停留所を!
- ◎小糸製作所跡地の整備計画の進捗は

## ● 與那覇徳雄 (P11)

- ◎地域資源を活用した農業振興等促進について
- ◎障害年金等について
- ◎交通安全対策について

## ● 上地利枝子 (P11)

- ◎交通安全対策について
- ◎村営団地(古堅・瀬名波・喜名)の運営について
- ◎青少年センター相談員及び各学校に配置されている心の教室相談員の取り組みについて
- ◎総合相談支援センター設置の考えは!
- ◎本村が開発してきた特産品と販路について

## ● 伊佐 眞武 (P12)

- ◎村道伊良皆西線と村民センター地区を結ぶ現道路について
- ◎都屋漁港について
- ◎交通安全対策について
- ◎村道比謝牧原線にかかる橋について

## ● 山内 政徳 (P12)

- ◎本村の不登校・引きこもりについて
- ◎防災減災について国の補助金の活用は
- ◎読谷村への大型病院の誘致は
- ◎県立嘉手納高校への近道栄橋の建設は

## ● 神谷 嘉栄 (P13)

- ◎東アジア唐芋友好ワークショップについて
- ◎読谷校防災講演会より
- ◎学校の環境について
- ◎道路の現況は

## ● 仲眞 朝雄 (P13)

- ◎「2020年教育改革」学習指導要領について問う
- ◎本村小・中学校の支援学級の現況と課題
- ◎葬祭費給付金制度について

## ● 松田 昌邦 (P14)

- ◎個人番号カードについて
- ◎農業用廃プラスチック処理について
- ◎災害時の停電に伴う避難所への対応について



詳しくは読谷村ホームページの議会(LIVE&映像ライブラリ)で動画が観れます!!



喜名小学校内に児童クラブを建設



くによし まさかず  
國吉 雅和

ニューゼaland

**問 駐日N.Z.大使の来村を求める**

**答** オールブラックチームが読谷合宿をすることにより、キャンプ地読谷の認知度はさらに高まるので駐日N.Z.大使来村もアプローチしていきたい。

**問 村立給食調理場の統廃合**

**答** 令和4年9月読谷給食調理場の供用開始予定

**問** 当初計画と遅れた要因は

**答** 事業費の圧縮や動線の検討で遅れている。

**問** 職員体制も少ないのでは

**答** 人的対応検討していきたい。

**村立幼稚園の完全給食を目指す**

**問** 放課後児童クラブ整備

**答** 5年以内に公設民営4カ所、民設民営7カ所の計11カ所を計画している。

**問** 喜名学童クラブの運営は

**答** 40名定員で申込みは役場で受付、ピーターパン学童の指定管理。

**鳳バスの利用者増**

**問** 利用者の推移は

**答** 4月1日開所の平成21年度18,112人から平成30年度28,285人で増の要因は、読中への登下校の利用や商業施設への利用増。

**問** 利用者増に向けての提案イ) 運転免許返納者へ1年間無料乗車。ロ) 高校生の乗車料金を200円から100円にする。ハ) 4月は「鳳バス利用推進月間」に取り組む。ニ) 旧読中跡地のイオンオープンに向けての路線変更

**答** イ) ロ) ハ) ニ) の提案を検討する。

**最大約11億円の固定資産税増額**

**問** 読谷西部地区土地改良地域の環境整備(カーブミラー・防犯灯・停止線)を求める

**答** 安全面など現地の状況を確認しながら、計画的に設置していきたい。(3月定例会は整備が進むと固定資産税増額に繋がる視点で求める。)

**村内建設業者会の体力強化を求める**



首里城再建へ!!



うえち さかえ  
上地 榮

**問 首里城再建の取組みの経過と方針**

**答** これまで役場庁舎内とユンタンザミュージアムに募金箱を設置して取組んでいる。首里城は県民の大きなよりどころでもあり、最大限の支援を検討していく。今後は様々な災害やその復興を支援するための「災害復興基金」の設置などを検討している。

**問 第10回東アジア唐芋友好ワークショップの結果と評価**

**答** ワークショップへの参加は県外より30人、国外より58人、県内より141人となった。経済効果は780万円と試算している。大会においては活発な意見交換をとおして加工技術や栽培方法等の様々な情報交換がなされ、読谷紅イモが地域ブランドとしての認知度が高まった。

**問 県道6号線の交通渋滞の解消策**

**答** 楚辺入口交差点では右折車線設置がなされ、右折車による後続車の直線障害の軽減が図られている。県中部土木事務所としては、古堅小学校前交差点において、短期的な渋滞対策として、現況道路内での交差点改良(規模縮小)による県道側の青信号の時間延長ができないか検討している。

**問 本村における小中学校の教職員の働き方改革(月単位の平均残業時間等)**

**答** 小学校全体の平均残業時間数は約38時間、中学校全体の平均残業時間数は約41時間である。(2018年度)過労死ラインの月80時間以上の残業をした教職員の数は20人。

**問 村在住外国人の実態とマナー**

**答** 令和元年11月末現在での外国人登録者数は43ヶ国722人である。犬の放し飼いや糞の放置等、飼主に対しては英文表示のチラシや看板等で注意している。

**問 楚辺地域の海浜管理委託**

**答** 児童公園前の管理委託については可能である。ユーバンタ公園前の海浜の委託については調査研究をする

読谷村ハザードマップ

まつだ まさひこ  
松田 正彦

### 読谷村地域防災計画等を問う

**問** 災害対策本部初動体制の役割と行動は

**答** 必要とされる災害に関する情報を災害発生後、素早く把握し災害対策本部の体制を早く確立することが重要であり、早く職員を召集し、情報収集と伝達、分析を行いその後の対応にあたるのが初動の役割と行動です。

**問** 自助・共助・公助の役割とは

**答** 自助・共助・公助が連携し一体となることにより、災害時における被害を最小限にし、早期の復旧・復興につながるものとなります。

**問** 災害対策基本法と災害救助法の責務と権限は

**答** 国民の生命、身体及び財産を災害から保護し、社会の秩序維持と公共の福祉の確保に資する事が目的で、市町村の防災に関する計画等、住民に対しては自ら災害に備えること、自発的な防災活動等への参加を責務として定めておりこれを受け、市町村長に避難指示灯の権限が与えられている。法に基づく救助については、都道府県が行う事とし、救助の実施に関する一部の事務を市町村長に委任することができる。

**問** 災害時の水の確保は

**答** それぞれの事業者と連携し、対応を行います。水の確保は飲料水の備蓄を行うとともに村の配水池や県の調整池を補給基地とし、被災者に対し速やかに給水を実施するものとします。

**問** 近隣市町村との災害協定を結んでいるか

**答** 近隣市町村との災害協定は締結しておりません

**問** 村全体の防災訓練は年、何回行われているか

**答** 村全体は実施してないが、県広域訓練への参加、災害対策本部の訓練を実施し、各自治会との情報伝達訓練を実施している。



造設された遊具

ながはま むねのり  
長濱 宗則

### 問 平成30年度、基地関係交付金の名称と交付額を問う

**答** 1、国有提供施設等所在市町村助成交付金（国の所有するアメリカ軍、自衛隊基地施設に供する固定資産（土地、施設、工作物に関わる交付金）8410万2000円。（総務省）

2、施設等所在市町村交付金（米軍が建設し又は設置する米軍資産に対する交付金2億4190万9000円。（総務省）

3、特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛施設の設置または運用が周辺地域の生活環境または開発に及ぼす影響の程度を考慮した交付金2億3564万4000円。（防衛省）

4、再編交付金（在日米軍の再編により影響を受ける地域住民に対し、再編により影響を受ける住民の生活の安定に資するよう適切に配慮された地域において行う事業にたいする交付金2324万3000円。（防衛省）  
合計で平成30年度は5億8489万8000円。  
村有地（嘉手納弾薬地区、トリーステーション）の軍用地料6億2636万7420円、  
基地関係交付金と軍用地料合計12億1126万5420円で30年予算の約8%を占める。

### 問 平成30年度の特定防衛交付金事業は

**答** 15件で事業名は健康増進センター備品、安全啓発車両、読谷村診療所キュービクル高圧受電装置、エコー機器購入、村道大湾7号線整備事業、読谷補助飛行場北区整備事業、楚辺東公園崖地対策整備事業、読谷村文化センター防水空調工事、高志保公民館トイレ改修工事、宇座公民館建設実施計画、学校カーテン設置小学校給食備品、給食配送車購入、読谷給食調理場、備品購入事業。

### 問 古堅南小学校改築の工事期間と工事費は

**問** 令和3年から令和4年度工事を行なう予定、全体工事費は約45億円を見込んでいる。



子らの放課後守る民間学童に補助を！

やましろう せい き  
山城 正輝

### 民間学童への助成、基準満たしている施設から！

**問** 村が補助している学童は、何カ所で全額はいくらか

**答** 1カ所、787万2,000円。

**問** 村内学童数と利用者はいくらか

**答** 8カ所、237名。

**問** 今後の民間学童の必要性をどう考えるか。

**答** 更に共働き家庭がふえると見込まれるので必要と考える。

### 離婚家庭の養育費立替制度、注視する！

**問** 村内での養育費不払い件数は、何件で何%か

**答** 養育費を受け取っている世帯は、扶養手当世帯627世帯のうち88世帯で14%。

**問** 86%がもらってない。厚労省の全国調査によると、25%がもらっている。明石市が導入するという立替制とはどういうものか

**答** 市が立替し、支払い命令、過料を請求、氏名等を公表するというもの。

### 高齢者運転支援装置補助、調査する！

**問** この補助とは、どういうものか。

**答** 65才以上方々に、急発進、誤発進を抑制する装置の購入費用の9割を補助する。

### 座喜味前田原の用途見直し、周辺の土地利用と整合性を図る！

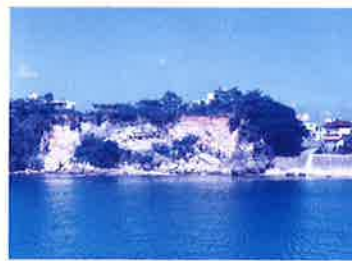
**問** 2019年3月議会、私の一般質問以降、県との協議はどうなっているか

**答** 計画全体の見直しは、予備協議を経て、10月より事前協議中。その後本協議になり、広告期間30日間に意見することができる。

### 座喜味4班ウッチンガーへの道路、今後整備計画！

**問** この道路は、集落発祥の地ともいわれる旧道である。現況をどう考えるか

**答** 縦断勾配が急な道路で、自治会からも整備要請が出されている。



泊城公園の崖崩れ対策を

しろま いさむ  
城間 勇

### 第10回東アジア唐芋友好ワークショップ in よみたんについて

**問** 事業の目的について

**答** 本事業の目的としては、大会を通して唐芋の栽培、加工、販売などの情報を交換し、その知識と技術の向上を図るとともに、唐芋を通して国境を超え、文化や歴史、言葉の壁を超えて、唐芋振興という一つの心につながり、東アジアにおける唐芋振興と発展に寄与することを目的として開催している。

**問** カビ菌の一種である基腐病が読谷村を初め沖縄全域で発生して聞いており、その対策等は

**答** 最近発生した病気ということで、県の方も、本村としても苦慮しているところ、殺菌剤で消毒して、感染の畑から動かさない、移動させない、菌を消毒してから植えるという対策をとっている。

### 沖縄在来の山芋（クーガ芋、和名トゲドコロ）について

**問** クーガ芋、読谷村講演会の日時、場所、主催、定員、内容、対象者等、クーガ芋を推進、奨励しては

**答** 日時、令和元年11月1日、場所、読谷村地域振興センター大会議室。主催、株式会社沖縄テレビ開発。定員40名、内容、クーガ芋特産化プロジェクト講演会、沖縄クーガ芋プロジェクト取り組みについて。対象者、行政機関関係者、スポーツ及び健康関連従事者、その他情報交換を実施している。

### 泊城公園の崖崩れ対策について

**答** 測量業務、設計業務、地質調査業務ということで今回の委託業務の中で進めていく。





未来を担う子ども達に切れ目のない支援を

しろま まゆみ  
城間 真弓

## 住民の生活向上をめざし、命と人権を守る 社会保障制度の拡充を！ 貧困問題の現状と 対策を問う

**問** 本村における「子どもの貧困対策支援事業」の現在行っている事業内容と課題、また今後の方針とは

**答** 食事の準備や片付け、簡単な調理、食事中のマナーや習慣、入浴や歯みがき、掃除、洗濯、身の回りの整理整頓、生活マナーの習得や家庭学習を習慣化するための学習支援を行っている。今後は中学校区ごとに、2カ所の事業を展開していきたい。

**問** 子ども達が安心して利用できる居場所として、本来の事業運営について県の目指す基本理念、目的に沿った事業運営となっているか

**答** さまざまな自立支援を行っていききたいと考えているので県の計画に沿った運営をしていると認識している。

**問** 周りに相談できない保護者や子ども達の声に対し村としてどう対応するのか

**答** これから調査研究させて頂きたい。

## 常態化する戦術訓練に危機感！ トライ通信 施設の強化に終止符を

**問** トライ通信施設での訓練が常態化する中、今後進められようとしている数々の機能強化に反対する姿勢を、村民や防衛局、トライ側にもっとしっかりと表明するべきでは

**答** (村長) 議員発言の件も含めて防衛局、そしてここが窓口になるのは現地米軍に粘り強く抗議、交渉をしていく。

## 命を育む「種子」を守ろう！ 種子法について 問う

**問** 国の「種子法」廃止により、本村として懸念される点や今後の課題等はあるか

**答** 特段懸念される影響や課題ないものと考えてるが種子の動向等に注視したい。



世界遺産座喜味城跡の活用を！

おおしろ ゆきはる  
大城 行治

## 問 世界遺産座喜味城址跡の活用について

**答** 座喜味城址跡は、およそ15万人の来訪者があると把握している。村内と村外という村外の来訪者が多いという印象がある。また周辺の公園の維持管理について、およそ600万円から700万円ぐらいかかっている。現在世界遺産座喜味城址跡及び駐車場の有料化に関するアンケートを実施している。座喜味自治会を始め各自治会や観光協会・商工会等1,000部以上配布している。令和2年3月末までの実施予定である。

## 問 会計年度任用職員制度について

**答** 令和2年4月1日から実施されるので、関連規則の整備と11月に職員に対する説明会を開催し、制度に関する周知を行っている。予算についても活用できる補助事業について精査している状況である。

## 問 読谷村プレミアム付商品券について

**答** 消費税増税対策として実施されている事業で、村内における対象者は11月末現在、低所得者7,069人、子育て世帯1,230世帯となっている。特に低所得者の申請が27.3%と少ない。対象者が利用できるよう勧奨も含めて内部で話し合っている。

## 問 喜名番所について

**答** 観光案内及び休息所として整備された喜名番所は、観光案内人が常駐して読谷村の歴史・文化を紹介している。道の駅喜名番所は地域づくりの活動の場として機能しているものの駐車場の慢性的な駐車等により道路利用者が快適に利用できない状態がある。現在、道の駅の多様化するニーズに対応するため南部国道事務所と継続的に勉強会を開催している。



伊良皆北交差点にバス停を！



ひが ゆきお  
比嘉 幸雄

**自治会加入率と行政区移行について**

**問** 各自治会の加入率は

**答** 各自治会ごとの加入率は算出していない。

**問** 各種団体の弱体化をどうとらえるか

**答** 自治会運営上、危惧している。

**松くい虫被害について**

**問** 観音堂公園や番所前喜名4号線沿いの枯木の処理はいつ頃対処できるか

**答** 観音堂の立ち枯れは2月頃、喜名4号線においても明確ではないが予定している。

**問 読谷18番市、共販センターの現状は**

**答** 18番市は昭和58年整備、共同販売センターは昭和57年に整備、物販部門は社協で運営。飲食部門は経営的側面から閉店となっている

**問** 建物の進入路、駐車場整備の必要性は

**答** 建物外、環境部分に関しては触れてない。

**問 警察と飛行組合のドローン協定の説明は**

**答** 平成29年に災害・人命救助に関する協定を締結している。

**問** 行方不明者捜索をドローンでできないか

**答** 内部で議論したことが無い。

**問 伊良皆北交差点へバス停設置の必要性は**

**答** 関係機関・関係課と意見交換を行う。

**問** 伊良皆バス停から喜名バス停までが1,800mと距離が長いこの交差点は丁度真中にある喜名の6班・7班・8班地区からは喜名バス停より距離が近い。団地もあり多くの交通弱者も住んでいる。

**答** まずは、バス会社と協議を行いたい。

**問** バス停名も高速入口に出来ないか

**答** 十分に検討に値すると思う。検討する。

**問 小糸製作所跡地の整備計画の進捗は**

**答** 整備に関しては、大規模事業への着手が控えているため、事業の芽出しが出来ない。



可能性を秘めたクーガ芋



つは こきくえ  
津波古菊江

**ゴミ減量化の推進と資源ゴミの最利用は**

**問** 建設費46億700万余のゴミ焼却施設が20年の月日で老朽化し再びH29年から更新工事(25億9,800万余)の費用が計上された。焼却炉の延命化とゴミ減量化について何う

①紙、古布類(53.9%) ②ビニール類(29.9%) ③生ゴミ(18.1%) ④村民への意識向上の啓発等を含めた再資源化への取り組みは

**答** ①紙、古布についてはH30年度可燃ゴミの半数以上を占めており引き続き分別回収を村民、事業者への周知を図る。古布についてはリサイクルショップ、社協を案内する。 ②ビニール類の対策はスーパー備えのトレー回収ボックス、マイバック、プラ容器再利用を促す。 ③生ゴミ処理器の補助金については今後検討していく。

**問** ゴミ袋の改善でM・S両サイズも耳つき手提げ袋になるがゴミ減量化にどの様に繋がるか

**答** 耳つき手提げ袋になる事でワンサイズダウン効果になる。

**村道大湾7号線の進捗状況**

**問** 村道大湾7号線の工事の進み具合と大湾から古堅へ抜ける一方通行の解除部分は

**答** 大湾7号線の終点側から東側(大湾公民館)向かって75m(現在の一方通行の出口75mの区間が総合通行が可能となる。)

**甘藷事業と生産農家の現状は**

**問** 読谷村内のスーパー等で紅イモが少なく感じるが ①いも生産農家の数と実績 ②生産農家支援の村の取り組み ③沖縄在来の山芋クーガ芋(和名トゲドコロ)の商品としての可能性と生産農家拡大への支援は可能か何う

**答** 芋農家約53名生産量1,343t、支援として被害芋の炭化処理農薬配布を行う。クーガ芋がクローズアップされ関係者で沖縄クーガ芋プロジェクトが設立された。関係者と情報交換していく。



東門に信号機を早急に！

うえち りえこ  
上地利枝子

### 交通安全対策の現状と課題

**問** 自転車による交通マナー

**答** 嘉手納地区交通安全協会主催で嘉手納高校、読谷高校に出向いて自転車に乗る場合の交通マナーと普及活動を行い反射材等を配り、安全対策を行っている。

**問** 波平東門交差点大型店舗オープンに共う交通安全対策について伺う

**答** 東門交差点は変則的な交差点になっていて危険度が高いと認識しており、信号機設置についてねばり強く要請していく。

**問** 読谷中学校周辺交差点の対策は

**答** 横断歩道を安心して生徒が渡れるようドライバーのマナー向上。看板設置予定。

**問** 波平3号線（丸大近く）の安全対策

**答** 歩行者の安全対策とし、ポストコーンを設置し歩行空間の確保を図る予定。

### 村営団地（古堅・瀬名波・喜名）の確保を図る予定

**問** 村営団地の立替え予定はないか

**答** 長寿命化を優先し、新たな村営団地を建設していく予定はない。

**問** 村営団地へ入れなかった方々へ空き家を活用しての家賃補助等の制度の考えは

**答** 新たな村営団地を建設していく予定がないことから、家賃補助等の制度については、検討していく必要があると考える。

### 青少年センター相談員の現状と課題

**問** 相談員を配置しての成果について伺う

**答** 児童生徒に粘り強く寄り添いながら、学校や保護者との連携を重視し関係者間の信頼に基づく支援が展開されている。

**問** 課題についてはどのように考えるか

**答** 相談件数や不登校生徒の増加により相談員数と予算確保が厳しい。児童生徒の居場所づくり、スペースが十分に確保出来ない。ほかの場所へ移設できないか。財政的には厳しい状況だが検討していく。



安全のため「路面舗装ゾーン」が必要

よなは のりお  
與那覇徳雄

### 問 堆肥センター施設整備の考えは

**答** 施設設置後の「運営上の経済性」の確保や周辺への悪臭の影響がない施設設置場所の選定等の課題があり、整備方法は確立されていない。

**問** 悪臭防止対策方法等、解決策は

**答** 畜舎等へ資材の散布や農家へ発酵飼料の配布等を行っている。引き続き資材等の補助を行う。効果的な方法を模索する。

**問** 悪臭の影響がない施設設置場所の選定等の課題解決に向けた議論は行ったか

**答** 県の畜産課の情報では、無風状態でも施設から650mは臭いが感知できるとのことで、村内で適した個所がないか検討する。

### 問 年金生活者支援給付金の説明と給付は

**答** 消費税率引き上げ分を活用し、一定基準以下の年金受給者の生活を支援する為、支給対象者は2,568人、9月に日本年金機構から通知が発送、12月支給された。

**問** 請求漏れに対しての対策等は

**答** 請求漏れは年金機構から再通知された。

### 問 交通安全対策でカラー舗装実施場所は

**答** 村道大木～比謝線一部、古堅中学校入り口、みらい児童館の3か所実施予定。

**問** 小学校や幼稚園、保育園周辺に「路面舗装ゾーン」の設置に取り組んではどうか

**答** 「路面舗装ゾーン」実施予定はない。

**問** 3か所の総事業費と他要請箇所数は

**答** カラー舗装120万円、外側線・区画線90万円で実施、他要請箇所は3か所。

**問** 3か所の要請箇所はどこか伺う

**答** 村道渡慶次～儀間線の大嶺商店前、喜名公民館前通り、村道喜名中通線の3か所。

**問** 要請の3か所、次年度計画実施予定か

**答** 要請として受けていることで、次年度以降、審査・精査して実施することになる。次年度も随時受け付けていく中で考える。



栄橋は通学の近道になるか!!

やまうち まさのり  
山内 政徳

### ネットゲームの依存症のことについて伺う

**問** 学校指導課長の認識として、今読谷村でネットゲーム依存症の子供達の状況はどうなっているのか

**答** ネット家庭については大きな問題として学校現場委員会としても捉えています。ネット被害に対する講演会はどの学校でも実施し、本村7つの学校でも防止に対する授業、講話等が行われている。これからも実施していく。

**問** 防災減災について、新たな取り組みはありますか。国も色々補助金等を予算化していますか。

**答** 国の方から防災等に関する補助金等が寄せられている。情報等では聞いておりますけれども全てを村が実施しているか、そういう事ではありません。整備を図る中で必要に応じて検討する。

**問** 読谷村への大型病院の誘致はどうなっているか。

**答** 一次救急や外来を含む有床医療施設及び介護医療機能を備えた有床施設の設置を目指して取り組んでいる。

**問** 県立嘉手納高校への近道になる栄橋の建設についてどう考えるか

**答** 最近嘉手納高校へのアクセス問題とかがいろいろ出てきて、クローズアップされてきておりますので、今後その辺の優先順位が上がることも可能性としてはある。限られた予算の中で今後優先順位を考えていきたい。

**再問** 在籍の半分以上の子供達が嘉手納高校に通っている。この状況に配慮をさせていただいて、また別立てでもいいですから、努力をしていただくよう要望したい



村民センター地区と伊良皆地区を結ぶ現道路

いざ しんぶ  
伊佐 眞武

### 村道伊良皆西線と村民センター地区を結ぶ現道路について

**問** 現道路は大木土地区画整理事業との関係で宅地になる予定ですが、閉鎖時期は

**答** 区域内の事業進捗に伴い、当該道路の閉鎖は令和2年4月の予定。

**問** 地域への周知及び説明会の予定は

**答** 当該道路の出入口及び周辺道路へは周知看板を設置し、広報及びFMよみたん等を活用し広く周知する予定。説明会については地域の皆さんが混乱する状況は望ましくない事から話があれば当然出向いて説明をさせていただきたい。

### 都屋漁港について

**問** セリ市場背後地の駐車場をより使いやすい様に改善できないか

**答** 沖縄県が事業主体となり、漁村再生交付金事業を活用し、駐車場用地の舗装整備を行う計画で令和2年度の新規事業採択に向け取り組んでいる。

### 交通安全対策について

**問** 村道大木比謝線は歩道もない上通学路である。早急なグリーンベルトの舗装が待たれていますが予定はどうか

**答** 朝夕の登下校時間帯は児童生徒の通行が多い道路であり、今年度カラー舗装を実施する予定。

**問** 交通安全対策について国は最近、新たな補助メニューを創設したと聞く、全体的な整備に向けて検討してどうか

**答** 本村としても通学路交通安全プログラム作成に向けて情報を収集しているところ。

### 村道比謝牧原線にかかる橋について

**問** 供用開始と橋の正式名称は

**答** 令和2年度の予定でしたが補助金との関係で延びている。橋の名称は以前に組合の総会で決まった事も含め今後検討。



どう変わる学校教育!!

なかま あさお  
仲真 朝雄

## 2020年「教育改革」学習指導要領が見直され学校教育が大きく変わる

**問** 小・中学校では各々どう変わるか

**答** 背景として、教育過程の基準となる学習指導要領はニーズや変化に即して約10年ごとに改訂される。社会の大きな変化に対応し、自立するために必要な資質能力を備えた子どもたちを育むことをねらいとした今回の改訂である。次の3点が大きく変わる。

- ①これまでの道徳が「特別の教科道徳」になる。
- ②これまで5年生、6年生で行われてきた「外国語活動」が「外国語」となり教科化される。3、4年生において「外国語活動」が導入。
- ③「プログラミング教育」が導入される。

**問** その目的は

**答** 道徳教育の目標に基づき、道徳性を養うため生き方について深める学習を通して道徳的な判断力などを育てる。

外国語のコミュニケーション能力は、これまで以上に必要とされ、小学校の中学年から導入することで中学校へのスムーズな接続を図る。プログラミング教育は1つ目に「プログラミング的思考」を育むこと。プログラムの働きや良さへの「気づき」を促しコンピュータを活用し、育むこと。

**問** 改訂に向けての対応は

**答** 「特別の教科道徳」については既に先行実施、研究授業等に参加、実践を重ねている。外国語活動は完全実施に向けた取組を開始。プログラミング教育ではプログラミングソフトを導入済み。

**問** 小学校の教員の英語教育免許所得率は?

**答** 小学校5校155人中16約10%。

**要望** 英語教育の人材を地域に求めては?

その他、支援学級の現状と課題・葬祭費の給付金制度について質問した



東アジア唐芋友好ワークショップ

かみや かえい  
神谷 嘉栄

## 東アジア唐芋友好ワークショップ開催

**問** 第10回大会の本村開催の成果と評価は

**答** 多くの関係者参加による加工技術や栽培方法等、様々な情報交換ができ、また新聞社等マスコミとの連携のPRにより読谷紅イモが地域ブランドとして認知度が上がった。

**問** 害虫(アリモドキゾウムシ・イモゾウムシ)の基調講演があったが、本村の現状と対策は

**答** 本村含め本島地域の生息状況に変化はないが営農対策の実践により害虫被害イモは1割程度に抑えられている。引き続き被害低減に向け出荷団体と協同で図っていく。

**問** 生産の安定供給への今後の取り組みは

**答** 現在、バイオ苗の配布を役場で行っており、今後は多品種化を図っていききたい。

## 読谷村防災講演会から

**問** 「自然災害を自分事として頂きたい」旨の言葉があったが、行政の立場としては

**答** 「自助」「共助」へつながると考え、今後も講演会等の啓発活動を行っていききたい。

**問** 聴覚や視覚等の身体障がいの方々への防災はどのような対策がなされているのか

**答** 本人同意で災害時要援護者登録を行い、災害発生時は個別支援を自主防災会と行う。

## 児童生徒の学校環境

**問** 学校、その他周辺の安心安全な連携体制は

**答** PTA・地域安全ボランティア、民生児童委員や駐在所員等を見守り隊で依頼、また不審者情報発生の場合、職員で校外見回りや保護者へメールサービス等で知らせている。

**問** 児童生徒へスマートフォンの指導を伺う

**答** 道徳や総合的学習に情報モラル教育を行い警察署などの講話も取り入れている。

## 道路(歩道)の現況

**問** 県道6号線沿い川平バス停横歩道の柵が破損しているが県への修繕要請できないか

**答** 今年度中には柵を再設置の予定。

令和2年度4月1日より **賛成多数にて可決**  
(賛成 17・反対 1)

# 村指定ごみ袋の値段が変わります。



中 (30%)  
— 20円 —  
↓  
**22円**  
(10枚セットで220円)



小 (20%)  
— 17円 —  
↓  
**19円**  
(10枚セットで190円)



特大 (90%)  
— 60円 —  
↓  
**65円**  
(10枚セットで650円)



大 (45%)  
— 30円 —  
↓  
**33円**  
(10枚セットで330円)

◎ごみ袋の料金改定に関する条例の一部改正も可決いたしました

現在の手数料は平成20年の家庭ごみ有料化導入後改定を行っていません。近年収集運搬費用の村負担が増加傾向にあることから受益者（村民や村内事業所等）との負担割合を同等にしていくものであります。今回の改正（令和2年4月1日）により中・小袋に耳を設けることによる容量アップが図られ今後のごみ減量化や資源化（リサイクル）を考える機会にしたいものです。



収穫後マルチ資材は補助金活用で適切処理を！



まつだ まさくに  
松田 昌邦

## Q 村政を問う 一般質問

### 問 個人番号カードのメリット・デメリットについて

**答** メリットはコンビニ等で各種証明書の受領が可能になる。証明書としての活用や行政手続きのオンライン申請への利用。国は現在令和3年3月までに健康保険証としての利用等を計画している。個人番号にはプライバシー性の高い個人情報に記載されていない。システム面で個人情報の一元化をするものではなく各行政機関が保有し分離管理されている。

### 問 農業用廃プラスチック処理について

**答** 本年度より農業関係機関、団体等が協力して読谷村農業用廃プラスチック適正処理対策協議会を設置し、農村環境の保全と農業の健全な発展に資することを目的としている。処理対象物は農業全般で使用した廃ビニール・ネット・プラスチック鉢・肥料袋等で1回目は2日間実施し、令和2年2月にも実施予定である。

### 問 災害時の停電に伴う避難所への対応について

**答** 電気自動車（EV）と可搬型給電器の導入は検討していないが今年度、沖縄観光防災力強化支援事業を活用し発電機10台を購入予定であり、災害時における活用を考えている。

## 文教厚生常任委員会 委員会審査報告より

### ◎陳情第1号陳情書【読谷キッズ学童クラブより】。

本陳情は、民設民営への放課後児童健全育成事業補助金の早期交付の検討や公設民営を運営をする際は公平に公募するよう求める陳情である。

今後新設する放課後児童クラブの管理については、指定管理者による運営で、事業者選定については公募で行うとし、補助金の交付については、読谷村子ども・子育て支援事業補助金交付規則第1条で予算の範囲内で補助すると規定している。よって当陳情が本村の子ども達の安全な居場所づくりと待機児童解消に寄与するものとし、全会一致で採択。

### ◎陳情第2号要請書【読谷村サッカー協会より】

本陳情は、スポーツコンベンション事業と村民のスポーツ振興における施設利用期間の明確化と現在の多目的広場に「照明設備完備の人工芝グラウンド」を整備することで、いままで以上のスポーツ振興に寄与することを目的とした要請である。

施設整備に関して「読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備」基本計画があり、実現するためには財源をどう確保していくかが課題ではあるが、当陳情が本村の生涯スポーツ振興と社会教育に寄与するものとし、全会一致で採択。

## 建設経済常任委員会

### 伝統工芸品 読谷山花織事業協同組合調査

#### 1、組合役員との意見交換（令和2年1月15日水曜日）

- 組織の概要設立年月日・組合員数・設立までの経緯
- 組合の事業収入と活動状況
- 観光産業との連携はどう行われているか
- 県内での販売促進案はあるか
- 商品開発への取組状況はあるか

※閉会中の継続審査

伝統工芸品を使った小物類



# 長浜棒グーヤ巻を復活

## 長浜棒について

今からおよそ200年前、長浜に山内ウメーという武に長けた人がいました。山内ウメーは首里の御殿勤めをされたといえます。「生り武士(生来武の才能を持った人のこと)」であつた山内ウメーは、御殿勤めの傍ら、

武術の稽古に励みました。山内ウメーの名は首里王府内にも知れ渡り、数々の武勇伝も語り継がれています。山内ウメーは、首里赤坂の地名にちなんで「赤坂棒」と「山内暗夜」を

長浜の人々に指導しました。時代は下つて明治の末頃、津堅島から津堅繁多小ウスメーと浦添から浦添カンターという二人の武術者を招いて、



長浜伝統芸能保存会による演舞

棒術の指導を受けました。沖縄中にその名が知れた二人の武術者が相次いで長浜を訪れたため、長浜の棒術熱は一気に高まり、長浜棒の隆盛期を迎えました。

現在、長浜には11組の組棒が伝承されていますが、この11組の組棒は伝承経路から推して、5つに分類することが出来ます。

山内ウメーの流れ、津堅繁多小ウスメーの流れ、浦添カンターの流れ、伝承不明の組棒、これらの技を組み入れて編み出された「変手(ヒンテイ)」という分け方ができます。

このように分類すると長浜棒の発祥年代は、伝承不明の組棒の解明がなされていない現在、山内ウメーの時代のおよそ200年前までさかのぼるものと思われれます。

長浜棒の演技の構成は、二列縦隊に並んだスネーイに始まり、組棒の演技、グーヤー巻といわれる巻棒、そしてスリー太鼓でその演技を終了します。グーヤー巻とは、グーヤー(学名:高瀬貝)という貝の形を象る集団演舞のことで、「サア、サア」というかけ声で左巻きに円陣を組み、



第9回読谷まつりにて(昭和58年)

その後右巻きに円陣を解いていきます。長浜棒の技には、

- ①足切り・・・右手斜め上に振り上げ、左から相手の足払いをする。
- ②大割・・・上段高く振り上げ、相手の頭上眉間に打ち込む。
- ③心す技・・・相手のへそを突く技。
- ④ウービ切り・・・相手の腰ガマクを切る。
- ⑤カチ切り・・・相手の肩を打ち落とす技で、中々巧妙。
- ⑥突手・・・左手先に相手の股間を突く。
- ⑦ウラ切り・・・上段で棒を一回振り回して、相手をウラから打ち込む。等があります。

### 表紙説明

2月に行われた「まなびフェスタ読谷2020」では『きて・みて・さわって・体験しよう!』をキャッチフレーズに地域の産業・文化をテーマにしたお仕事体験イベントなどが行われました。子どもも大人も一緒に楽しんで学べるイベントに村内外からもたくさんの方々が訪れました!



未来の人間国宝が誕生?!

## りっかりが読谷村議会

12月定例会での傍聴者は、延べ31名でした。

令和2年3月定例議会は2月27日(木)から開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225